

農山漁村地域整備計画事前評価シート

【計画の名称】袋井市農業集落排水処理施設機能強化対策事業計画策定

【計画策定主体】静岡県袋井市

【計画期間】平成31年度（1年間）

【計画の目標】本地区は、廃棄物処理法に基づく一般廃棄物処理基本計画中の「生活排水処理基本計画」に農業集落排水施設として位置付けられており、対象事業により農業用排水の水質保全、農村生活環境の改善を図り、品質の高い農業の実現及び住み良い農村社会を形成する。

【評価指標】平成30年度に最適整備構想を立案した1処理区（大日）の機能強化対策改築工事等の計画策定を行う。

I. 目標の妥当性	(評価内容)
① 関連する計画との整合性	静岡県生活排水処理長期計画や袋井市一般廃棄物処理基本計画「生活排水処理基本計画」等の上位計画との整合が図られている
② 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	農業集落排水処理施設の適正な管理を目標としている
II. 計画の効果・効率性	
① 整備計画の目標と定量的指標の整合性	最適整備構想に基づき施設の長寿命化を図るため、事業計画を策定する
② 指標の事後評価の妥当性(事後評価ができる適切な指標)	事業完了時に、水質調査を確認することで事後評価が可能
③ 指標の妥当性(構成事業の実施による効果を評価するに当たり適切な指標)	事業計画を策定することにより、施設の有効利用、長寿命化が図られ、放流水質の維持が図られる
III. 計画の実現可能性	
① 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	袋井市の推進体制が整備されており、円滑な事業実施が可能である
② 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	地元住民は安定した生活排水処理を望んでおり、事業計画の策定は不可欠である